

幼児向け



『いっこさんこ』

及川賢治、竹内繭子／作
文溪堂 ¥860(税別)

「いっこ」と「さんこ」のたった2語だけの言葉が耳に心地よく響く。リズムをつけて、声に出して読んでみたくなる。シンプルで鮮やかな絵が特徴的な、赤ちゃんと一緒に楽しみたい絵本。



『いろいろおてがみ』

えがしらみちこ／作
小学館 ¥1,100(税別)

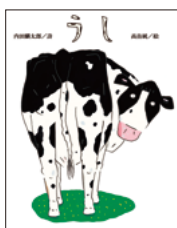
手紙が大好きななちゃんが、ポストに届いた手紙を見つける。手紙の模様には差出人を当てるヒントが隠されている。誰から来た手紙なのか、想像力をはたらかせて考えることが楽しい絵本。温かみのある水彩画で描かれている。



『ウサギのすあなにいろのはだあれ?』

ジュリア・ドナルドソン／文 ヘレン・オクセンバリー／絵 戸谷陽子／訳
徳間書店 ¥1,700(税別)

ある日うさぎが、巣穴に戻って来ると中から「おいらは はらべこ びんががぶりん。ウサギのみみがだいこうぶつ。」という大声が聞こえた。驚いたうさぎは、クマやゾウたちに助けを求めるが…。リズムカルで声に出して読みたい絵本。



『うし』

内田麟太郎／詩 高畠純／絵
アリス館 ¥1,300(税別)

うしろを振り返り、こちらをじっとみつめる牛。詩ならではのこぼの楽しさや、リズムの心地よさを絵とともに味わいながら読んでいくと最後に「もう」。ユーモアがぎゅっとつめこまれた楽しい絵本。



『オレ、カエルやめるや』

デヴ・ベティ／文 マイク・ボルト／絵 小林賢太郎／訳
マイクロマガジン社 ¥1,600(税別)

かえるが嫌になり、猫になりたいと言うと、お父さんに猫にはなれないと言われる。うさぎ、豚、ふくろうなど、になりたい動物はいろいろあるけれど、やっぱりかえるがいい!かえる親子の豊かな表情と陽気な会話が愉快な絵本。



『しんごうきピコリ』

ザ・キャビンカンパニー／作・絵
あかね書房 ¥1,300(税別)

信号機の青色は「進め」、赤色は「止まれ」と、パトカーが交通ルールを教えていると、信号機がピンクや紫など不思議な色に光る。すると、車は逆立ちしたり、空を飛んだりする。いつもの信号機とは違っちゃって変わった信号機の話。



『ほっぷすてっぷかぶとむし』

増田純子／作
福音館書店 ¥800(税別)

かぶとむしくんが、はっきりした色と形で描かれている。「かたあし あげて けん けん けん」、「ほっぷ」「すてっぷ」「じゃーんぷ」など、かぶとむしくんの動きに合わせて子どもと一緒にスキンシップが楽しめる一冊。



『ぼつぼつぼつだいじょうぶ?』

しもかわらゆみ／作
講談社 ¥1,300(税別)

ぼつぼつと雨が降ってきた。ねずみやうさぎなどの動物たちは、みんなそれぞれ、お気に入りの傘があるので、雨が降っても大丈夫。かわいらしい動物たちを、柔らかく繊細なタッチで描いた絵本。

その他のおすすめの本

●『あっぱは』

川之上英子、川之上健／さく・え 岩崎書店 ¥850(税別)

●『あめのひ』

サム・アッシャー／作・絵 吉上恭太／訳 徳間書店 ¥1,600(税別)

●『いろいろはっぱ』

小寺卓矢／著 アリス館 ¥1,400(税別)

●『えらいこっちゃんようちえん』

かさいまり／文 ゆーちみえこ／絵 アリス館 ¥1,300(税別)

●『おやすみおやすみみんなおやすみ』

かのうかりん／作・絵 金の星社 ¥1,300(税別)

●『きみもこねこなの?』

エズラ・ジャック・キーツ／作・絵 当麻ゆか／訳 徳間書店 ¥1,500(税別)

●『きゃべつばたけのぴょこり』

かいのぶえ／さく 福音館書店 ¥900(税別)

●『しろさんとちびねこ』

エリシャクーパー／作 椎名かおる／訳 あすなろ書房 ¥1,300(税別)

●『スープになりました』

彦坂有紀、もりといずみ／作 講談社 ¥1,200(税別)

●『てをつなぐ』

鈴木まもる／作 金の星社 ¥1,300(税別)

●『ふーっ!』

新井洋行／作 ほるぷ出版 ¥850(税別)

●『ママのて』

やまもとゆうこ／作 こぐま社 ¥900(税別)